

高輪地区情報紙

2008年11月

Vol. 7



あなたの街

三田4・5丁目・高輪・白金・白金台

発行：高輪地区総合支所 地区政策課

- 7 大使館探検隊 クウエート大使館
- 6 区立白金台どんぐり児童遊園
- 5 町工場の発明家たち
- 4 忠臣蔵と高輪地域
- 3 こけし蒐集家 イツカ・スターンさん
- 2 聖心女子学院演劇部・英語演劇部／シーサイド・ブリーズ



「高輪の消防署と警察署周辺」

港区立高輪台小学校 6年生

大学・高校と地域の連携を

わたしたちの高輪地区（三田4・5、高輪、白金、白金台）には、大学が4校、短期大学1校、高等学校がなんと6校あります。わずか3.37kmの狭い地区にこれだけ、大学、高校が集中しているのは、日本でいや世界でも珍しいのではないのでしょうか。地区の中央部に住んでいると、これらの学校はほぼ徒歩圏内にあります。

しかし、日本ではどうも、学校は学生の学びの場といった考えが一般的で、いくら近くにあって、地域に住む人や働いている人にとっては、敷居が高く関係のない場所という感じがあったようです。

一方、アメリカでは、生涯教育、職業訓練、地域リーダー養成を目的として、地域ごとにコミュニティ・カレッジが置かれており、若者からお年寄りまで1000万人以上の人が通っています。

日本の大学でも地域貢献が大きなテーマとなっており、地域との連携を考える大学が増えてきています。港区でも区内の大学との連携を図るための取り組みが進められています。

その一つの例として、昨年、港区と明治学院大学と共同主催で地域リーダーを養成するための「チャレンジ・コミュニティ大学」が始まりました。一流教授陣の講義を受けることが

できるだけなく、地域の施設や美術館、音楽ホールなど、現場で学ぶ授業もあります。地域と連携する新しい大学のあり方として画期的な試みだと思います。昨年卒業された方も、地域の様々なボランティア活動に積極的に参加しています。

東海大学及び短期大学部でも、地域学、文学、歴史など多様な分野の公開講座を行っており、一般の住民の方も講義を受けることができます。

また、三田に第2キャンパスがあるテンプル大学も、区と「連携協力に関する基本協定」を結んでおり、「英語による区民大学」、「中学生のためのサマープログラム」などを実施しています。北里大学白金キャンパスでは、まだ、そのような試みはないようですが、薬学部なので、健康に対する区民の関心も高まっていることですし、ぜひ公開講座などを期待したいですね。

それから、この地区に住む大学生や高校生にも、今後、少しずつでも、地域のボランティア活動に参加する機会を増やしてほしいと願います。地域と大学・高校がうまく連携し、様々な活動がさかんになれば、魅力ある地域社会が形成されるのではないかと思います。

創立100周年を記念し、開校時からの聖心の歴史ドラマを演じる

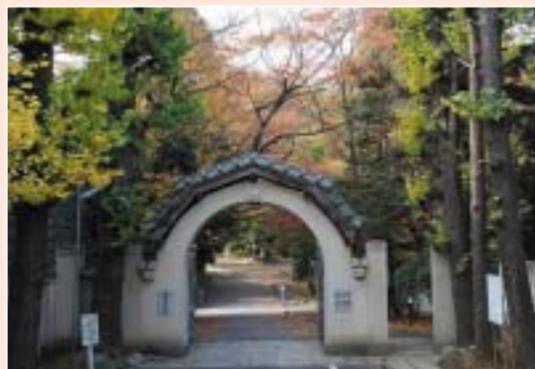
聖心女子学院演劇部・英語演劇部



今年で創立100周年を迎える聖心女子学院（中等科・高等科）を訪問しました。

静かな環境の校内に大きな樹木があちこちあり、学校の長い歴史を物語っています。今年10月の学院祭に、創立100周年を記念して、演劇部と英語演劇部合同による聖心女子学院100年の歴史をテーマとした演劇を上演するという事なので、両クラブの顧問の先生と部長さんに取材しました。

タイトルは「わたしたちをつなぐもの」です。聖心会の創立者聖マグダレナ・ソフィア・バラの志を受け継いで来日した



趣きのある聖心女子学院正門

修道女達は大変な苦勞をして開校し、その後大震災や東京大空襲で大きな被害に遭いながらも、学校を再建していきました。困難を乗り越えていった聖心スピリットを、今の学生がどのように受け継いでいくかを考えるとい

う内容です。台本は演劇部の出身で、演劇界で活躍されている岩井さやかさんが執筆しています。40人以上の出演者が1時間を超えて演じます。

演劇部は26人、英語演劇部は45人の部員で、週2回約2時間練習をしています。上演は10月の学院祭と春の校内発表会の年2回行います。指導は顧問の先生と部の先輩の方々が行います。

今まで上演したものは、演劇部では「そして誰もいなくなった」、「ロミオとジュリ



エット」、「鹿鳴館」など、英語演劇部では「レ・ミゼラブル」、「十二夜」、「サウンド・オブ・ミュージック」などです。

舞台装置の制作、照明、衣装、音楽など舞台に関わることをすべて部員で行っています。下校は5時半と決められているので、少ない部活の時間ですべてをまとめるのに苦勞されているようです。毎年、学院祭で行われる発表は、一般の方にも公開しています。地域の方もぜひおでかけくださいとのことでした。

高輪を拠点に活動する社会人ジャズビッグバンド

シーサイド・ブリーズ



高輪を活動拠点とし、プロ顔負けの演奏をするバンドがある、そんな噂をききつけた音楽好きのわたしたち編集部員。これは取材に行かなければ！と、9月のある水曜日の午後7時、高輪区民センターの音楽室で行われる『シーサイド・ブリーズ』の練習におじゃましました。広報担当の梶原さんがお話をしてくださいました。

♪ 「高輪」を拠点にしている理由は、結成のいきさつにありました

平成7、8年に高輪区民センターで「ビッグバンド養成講座」が開催されました。すごい人気で、受講にオーディションがあったくらいです。講座は2年で終了したのですが、有志で活動を続けることにしたのです。

♪ 週に一度、高輪区民センターに集合

練習は、毎週、この時間に、高輪区民センターで。決まった練習場所をお借りできていることも、続けてこられた大きな理由だと思います。

メンバーは全員アマチュア。録音や照明、マネージメントなど、演奏以外でサポートしてくれるメンバーもいます。ちょうど仕事や家庭などで忙しい年代（30～50代）です。でも、この練習があるから仕事も頑張



客席と一体となった熱気あふれる演奏

れるし、気心の知れた仲間と好きな音楽ができることはとても楽しい。飲みに行ったり、本番前には合宿をしたり、本当に仲がいいですよ。家族といるよりメンバーという時間の方が多かったです（笑）。

♪ 地域への貢献を目指した演奏活動を続けていきます

高輪区民センターでは、年2回の「高輪ジャズライブ」（写真上）や、秋の「みなとほほえみ週間ジャズコンサート」を開催しています。お客様も地域の方に多くお越しいただいています。メンバーの顔を覚えてくださったり。一緒に歳を重ねている感じです。

他に、「みなと区民まつり」や魚らん坂商店会などでの祭り、区外ですが小学校

で演奏したこともあります。地域のイベントなどの際にも、ひと声掛けてみて下さい。

ビッグバンドのよさは、リズム隊（ピアノ、ギター、ベース、ドラム）と、10数名からなる管楽器隊が奏でる音の迫力や厚み、ハーモニーでしょうか。コンサートでは、みなさんおなじみのジャズのスタンダードからコンテンポラリーなものまで幅広いレパートリーを演奏します。音のシャワーを楽しんで頂きたいと思います。



取材の後、ドラムの「ワン、ツー、…」の掛け声にあわせて早速、練習が始まりました。この迫力とリズム感！紙面でお伝えできないのが残念ですが、次の演奏会で体験されてはいかがでしょうか。活動予定はホームページをご覧ください。

ホームページ：<http://www.seaside-breeze.com/>
メールアドレス：info@seaside-breeze.com

この街にこの人あり

こけし蒐集家 イツカ・スターンさん

日本人には、忘れ去られてしまった感のある伝統工芸こけし。一方、ご主人の転勤先の日本で出会ったこけしの奥深さに魅了された米国人がいます。

現在は、米国グラスと高輪にある2つの住まいを歩き来しながら、こけしの研究を続けるとともに、米国でこけしを通して日本の文化を紹介する活動を行っているイツカ・スターンさんに、お話をうかがいました。



イツカ・スターン (Itske Stern)

米国人。インドネシアで生まれ、高校までをオーストラリアで過ごす。その後、米国で看護婦として勤務。1995年、ご主人の仕事で来日し、こけしと出会い魅了される。以来、こけしを通じて日本文化を紹介するなど積極的に活動を行っている。

不安いっぱいではじめた日本での暮らし

日本に転勤になると主人から聞いたときは、青天の霹靂でした。私にとって日本は未知の国でしたから。ですからワクワクするというよりは、どんな生活が待っているのかしらと不安でいっぱいでした。日本に来て当初は、全然日本語ができなかったので、乗る電車を間違えたり、迷子になったりで大変でした。東京の暮らしに慣れるのに、半年くらいかかりましたよ。

ライフワークとなるこけしとの出会い

初めてこけしを目にしたのは、知り合いの米国人のお宅でした。土産物屋で買ったという小さなこけしで、可愛らしいなあと思いました。その後、蚤の市でこけしを買うようになり、店の主人の「サムライだよ」という声にうながされるようにして、全部で28本もある小さなこけしのセットも手に入れました。この時は、ただ楽しんでいただけで、こけしについてよくは知りませんでした。そんな私がこけしへの関心を深めることになったのは、今住んでいるマンションの責任者斎藤尚彦さんからの特別なプレゼントだったのです。

斎藤さん 用事がありイツカさんのお宅にうかがった時に、テレビの上にある28本のこけしを見てビックリしました。思わず「清水の次郎長シリーズですね。こけしが好きなんですか」と聞きました。私は、こけしの産地の一つ東北の仙台出身ですが、こけしは、今では段ボールに入れられて押入れの隅にしまわれているような存在です。そのこけしが、外国人であるイツカさんの家に飾ってあるのを見て、ちょっとうれしく誇らしい気持ちになりました。

実家に帰った時に、母にこの話をしました。すると、「その方にさしあげて」と亡くなった祖父母が大事にしていたこけし2本を持ってきました。「二人は生前、時代もあり海外旅行をするなんて機会にはめぐまれなかったけど、二人の魂が入ったこけしを通じて旅をすることができるわ。大事にしてくれる方にあげるのが一番よ」と言いました。そこで、そのこけしをスターンさんにさしあげたわけです。

斎藤さんからいただいたこけしは、私が今まで持っていたおみやげ用のこけしとは全く違う気品あるものでした。愛らしい顔、素朴な形、独特の色あい、私は一目見て、そのこけしにすっかり魅せられてしまいました。工人（木工職人）さんが心をこめて作っている伝統こけしがあることを初めて知りました。

それからは、こけしのルーツを調べたり、産地に出かけ工人さんに直接会ってこけしにまつわる話を聞いたり忙しい日々（笑）。地方により特色のある模様などを知るにつけ、主人ともども夢中になっていきました。

江戸時代に東北で作られはじめたこけし

こけしは、江戸時代に東北地方で生まれた伝統工芸です。その起源は、信仰と結びついてい



た、土産物として作られていた、子供の玩具として作られていたなど、諸説あるようです。

伝統的なこけしは、その産地により十系統ほどあり、遠刈田（宮城）、木地山（秋田）、土湯（福島）、鳴子（宮城）、肘折（山形）などで、地域によって形もデザインも違います。それに最近はモダンな柄のこけしもあるんですよ。見比べるのも楽しみです。こけしは歴史といい、地域性のある模様の多様さといい、本当に奥が深くて興味がつきません。

日本のこけしの蒐集家の多くは男性です。女性で、ましてや外国人でしょ。産地に行くと、もう、みんなが珍しがっているんな話をしてくれるんですよ。今では、親しくお付き合いさせていただいている工人さんも何人もいますし、こ

けしを奉納するような祈禱祭にも招待され、神主さん、町長さん、それに工人さんと一緒に参列して祈禱をしています。

こけしを通じて日本と米国のかけ橋に

グラスの家には、現在、1100本ほどのこけしがあります（写真）。色があせないように、飾ってあるものを半年ごとに入れ替え、布で磨き手でなでて大切にしています。

こけしは日本の誇るべき伝統文化です。でも残念なことに、こけしに関心のある人が少なくなっています。最近では、こけしを知らない若い人もいます。私は、こけしの美、魅力をぜひ、みなさんに伝えたいと思っています。

ロサンゼルスにある全米日系人博物館 (Japanese/American National Museum) で来年の6月から3ヶ月のあいだ開催されるこけし展では、私の所有するこけし50本も展示されます。また、米国で近々出版される「Japanese Doll (日本の人形)」中の「こけし」の章を著者アラン・ペイト氏と共に執筆もしています。今まで日本と米国で、こけしや日本文化についての講演会を数回開いてとても好評で、こけしに興味を持つ方も大勢いました。今後もこの講演活動が続けることによって、日本と米国のかけ橋になればと思っています。

こけしを通じて日本の友人がたくさんでき、私の世界も広がりました。まさにこけしは、ハッピーアンバサダー（幸せをはこぶ大使）なんですよね。

大好きな日本、高輪

来日以来、ずっと高輪に住んでいますが、この12年間で大きく変わりましたよね。特に品川駅はとてもきれいで便利になりました。米国と違ってどこへでも電車でアクセスできるし、夜も安全に歩ける。また高輪は江戸時代、東海道の江戸の入り口だったと聞いています。この歴史ある街がとても好きです。本当にいい街です。それに多くの日本の友人がいて、大好きなこけしがある、私にとって日本は大切な心の故郷です。

高輪発

マダム ミムラの



材料

A { 小麦粉……………大さじ1 } まぜておく
生クリーム……………1カップ }
卵……………3個 →よくときほぐし、上とまぜる

しめじ……………1パック
生椎茸……………4ヶ
マッシュルーム…1パック
エリンギ……………2本
ベーコン……………80g 拍子木切り
バター……………小さじ2
にんにく……………1ヶ みじん切り
塩、こしょう、ナツメグ…少々
オイル (オリーブ) ……小さじ2



森のきのこのフラン

作り方

- ・耐熱容器 (23cm) にバターを塗る。
- ・ベーコンとにんにくを炒め取り出し、そのオイルで適当な大きさに切ったきのこを炒め、塩、こしょうをする。
- ・器にベーコンとキノコの炒めたものを敷く。
- ・Aに塩、こしょう、ナツメグで味をととのえ、器の中に入れる。上にバターを少々散らし、表面に色がつくまでオープンで焼く。190℃、約15~20分 (目安)。

ワンポイント・アドバイス

- ベーコンは、薄切りでなく、できれば塊のものを使ってください。
- マッシュルームは、泥のついた部分を切り落としてから洗い、レモン汁をかけておきましょう。

三村真喜子さん ●高輪で30年以上、フランス料理教室トゥロワ・ヴィラージュを主宰。フランスの国立ホテル学校に留学し、ホームステイをしながら、フランス料理を学ぶ。フランス料理を基礎からしっかり学んだ経験を生かし、日本人に無理なく作れる本格レシピを紹介している。

歴史を読む

忠臣蔵と高輪地域

主君の仇を討ち、その後、命を落とした義士たち。赤穂浪士討ち入り事件で有名なこの義士ら眠る墓が高輪の泉岳寺にあることは、ご存知のことと思います。

討ち入りが行われた十二月十四日には、毎年、義士祭が行われ大勢の人がお参りに訪れます。

しかし実は、高輪地域には、泉岳寺のほかにも、赤穂浪士討ち入り事件にゆかりの場所があることをご存知でしょうか。

もうすぐ十二月の義士祭を迎えるこの時期、義士たちを偲んで、彼らにゆかりの地を紙上でめぐってみたいと思います。

まずは、史実をもとに、江戸時代から現代にかけて歌舞伎・演劇・映画で語り継がれている『忠臣蔵』のあらすじから赤穂浪士討ち入り事件をたどってみましょう。



国芳 1852年 : 港区立港郷土資料館蔵

星うつりても
名は光る義士の徳

— 古川柳 —

忠臣蔵のあらすじ

將軍綱吉の時代、元禄十四年（一七〇一年）三月、朝廷の勅使の接待役に任じられた赤穂藩主浅野内匠頭長矩が、接待役を指導する立場の吉良上野介義央を江戸城松の廊下で斬りつけました。理由は、浅野が、十分な指導を行わない吉良に遺恨をもっていたからといわれています。吉良は傷を負いましたが、命に別状はありませんでした。一方、浅野は江戸城内での刃傷事件の責任をとられ、直ちに切腹を命じられ、浅野家の赤穂藩は断絶となりました。

赤穂藩筆頭家老の大石内蔵助良雄は、お家再興を図りましたが果たせず、主君浅野の吉良に対する恨みを晴らすため、同じ志を持つ赤穂浪士を集め、仇討ちをすることにしました。浪士たちは、密かに江戸に入り、着々と仇討ちの準備をしました。元禄十五年（一七〇二年）十二月、赤穂浪士四十七人は吉良家に討ち入り、吉良義央の首をとり、高輪泉岳寺の浅野長矩の墓前に献げました。

仇討ちを果たした浪士達は、一時、細川、松平、毛利、水野の四家の屋敷に分かれて、預けられました。しかし、元禄十六年二月、幕府の命により、それぞれの屋敷で切腹しました。



広重 1847~51年頃



「泉岳寺」 絵：高輪台小学校6年生

赤穂義士ゆかりの場所



この高輪地区で赤穂義士たちにゆかりのある場所をたずねてみましょう。

高輪泉岳寺

泉岳寺は、一六一二年徳川家康が外桜田に建立しましたが、火事で焼失し、浅野以下五大名により高輪の現在の場所に再建されました。それゆえ、浅野家の菩提寺となっています。

寺内には、浅野内匠頭長矩、大石内蔵助及び赤穂義士四十七人の墓所・慰霊塔、吉良の首を洗い主君の墓前に供えたという首洗い井戸、大石内蔵助の銅像などがあります。墓所は当時と変わりませんが、山門は一八三三年、中門は一八三六年に再建されたものです。赤穂義士記念館には、赤穂義士達のゆかりの品々が展示されています。



杉橋を経て札の辻から、浅野の墓前に報告するため泉岳寺に向かいました。その時に、高輪地区を通ったとされるルートとして、次のような説があります。

まず、札の辻から東海道をたどり、江戸に入りする人を監視する大木戸をさけるために、急坂の細道を西に上がり、亀塚公園の前の通りを伊皿子まできて左にまがり、坂を下って泉岳寺に至りました。

主君への思いを果たした義士たちは、どんな気持ちでこの行程を歩いたのでしょうか。

細川家中屋敷

大石内蔵助ら十七名が預けられた細川家中屋敷は、現在の高松宮邸、高松中学校、高輪地区総合支所、都営アパートなど高輪一丁目のほとんどの地域が含まれます。当時からある樹齢四百年のしいの木は、事の顛末をそっと見ていたことでしょう。

赤穂浪士切腹の跡

細川家に預けられていた十七名は、細川家大書院上の間の前庭で切腹しました。現在の高輪都営ア



パート裏手、ちょうど高松中学校の敷地内に細川邸の一部が保存されています。

堀部石材店

三田四丁目には、赤穂義士の一一人、堀部安兵衛の子孫が経営する石屋「堀部石材店」があります。現在のご当主は、安兵衛から数えて九代目。ずっと以前は、泉岳寺の近くで古着屋を開いていたのですが、四代目が、石材店をはじめました。

堀部家の菩提寺は安兵衛が眠る泉岳寺だそうです。



堀部忠次さん

荻生徂徠の墓

荻生徂徠は儒学者で、当時の將軍、綱吉の政策の補佐官として活躍しました。徂徠は私的には義であるが国家社会の秩序を保つ法の論理において、討ち入りの浪士を処罰することを綱吉に進言しました。

徂徠の墓は、桜田通り沿い、魚らん坂近くの長松寺にあります。





誠忠義士聞書之内 討入本望之図 歌川



仮名手本忠臣蔵 泉岳寺焼香の場 歌川
：港区立港郷土資料館蔵

町工場の発明家たち 「白金のナベさん」が語る 私の歩んだ道

白金高輪地区を中心に明治の頃から発展してきた町工場。前回までの『町工場の発明家』では、かつてこの地区で活躍された町工場の方々の話を、渡邊義信さん（八十六歳、白金在住）からお伺いしました。今回は、ご自身が歩まれた道を渡邊さんのお話をもとに、編集部でまとめてみました。

渡邊さんは、とてもお元気で、現在も日本特許診断士協会理事長、日本発明特許学会の常任理事を勤められ、平成十六年に藍綬褒章を受章されました。



86歳、元気に活躍されています

回転する給水栓の発明

私が通っていた三光尋常小学校の運動場にある水道場舎屋は、木造校舎の理科室の隣に小さく建てていました。休み時間になると、一年生から六年生まで、各教室から、約九〇〇名の生徒が校庭にあふれでてきます。喉の渇きのはげ

しい少年時代のこと、みな一気に水飲み場に集まります。十個ある給水栓は、当然、上級生が独占し、下向きに付いた給水栓の出口から出てくる水を手ですくっては口に運んでいます。そして、低学年の生徒は水を飲むことができないうちに授業の鐘の音を聞いて教室に戻らなければならぬということにがしばしばありました。

その後、縁あって、昭和十二年春から給水栓を製造するバルブコック業界に入った私は、折にふれ、速やかに飲んだり洗ったりできるような給水栓ができてこないかな



止水口が回転する給水栓（高松中学校）
現在でも多くの学校の水飲み場で使われています

あ、と思っていました。そんなある日のことです。

夜学の帰り道に、横に曲がって取り付けられ、水がだしっぱなしの給水栓を見つけました。それで水を飲んだ時、そうだ！給水栓の出口は下ばかりではなく、上下左右ぐるぐる回るようにすればよいのだと思いつきました。

私の気持ちは決まり、家に帰って、自分の構想を図面にしました。早速、木型屋にいき、親方に急いで木型を作ってくれよう頼みました。やがて、木型ができたので、それを鋳物工場に持ちこみ、鋳造をお願いしました。完成した鋳物は自分自身で旋盤に掛けて仕上げました。

完成!! 予想通りの完成品が出来上がりました。給水栓の出口が

12月14日の泉岳寺義士祭

討ち入り後、札の辻から 泉岳寺に至るルート

討ち入り後、義士たちは、本所の吉良邸から隅田川沿いに南下し永代橋を渡り、八丁堀、汐留、金



この記事は、港区立港郷土資料館学芸員松本健さん、泉岳寺牟田賢明さん、堀部石材店堀部忠次さんにお話をうかがい、左記の文献を参考にまとめました。
忠臣蔵四十七士全名鑑、眞説元禄忠臣蔵、政変「忠臣蔵」等

終戦直後のこと

戦地に赴き九死に一生を得るこゝとが何度かあり、やっと生きて復員することができましたが、父の工場は焼けて何もなくなっていました。その時、無一文の私は、よし、自分の工場をつくってみせると固い決意をしました。

二十五歳の時、たまたま、九十里浜に遊びに行く機会がありました。浜では漁師が大量のいわしを煮干しにする作業をしているのを見かけました。いわしをとって、すぐに強い火で煮ると、ピンと伸びた一等品の煮干しができます

ものがなく、まがった煮干ししかできません。そこで、私は海軍で学んだ蒸気の知識とバルブをつかった経験から、強い火力を得る考えがひらめきました。

水と重油と圧縮空気による火炎放射器のような構造を考え、強い火力をつくることに成功しました。

装置の細かい仕掛けを考えて、完成するまで、約一ヶ月位で製品をつくることができ、実用新案もとりました。これを漁師に見せたら喜んで、すぐに欲しいといわれました。取ってきたたくさん

発明クラブについて

私がここまでこれたのは、まさに頭で考え出した数々の工業所有権のおかげです（渡邊さんは工業所有権を数十件登録されています）。発明や考案を考えることは楽しいし、生活すべてを活性化するとおもいます。

伝統的に町工場が多いこの地区に発明クラブのような会合があってもよいのではないかと思えます。町工場や商店で働く人たちに加えて、発想豊かな子ども達や生活の中の道具に詳しい主婦の方たちが積極的に参加し、皆さんと一緒に発明を考えると素晴らしいクラブになると思います。

職人修業時代

この給水栓は、「吐水口自由回転式給水栓」という製品名がつけられ父の工場で作られました。その利便さから学校、駅、公共施設などに多く使われるようになりました。

十六歳から二年ほど他の工場で見習い工として働いた後、父の工場に働くようになりました。その頃の工場は、朝七時から夕方五時までの操業です。昼休みは三十分しかありません。私は、朝五時半に起き、操業前に機械に油を入れたり、点検したりしました。午後五時に、工場が終わると、自転車です早稲田の専門学校に通い、帰ってくる、夜中の二時まで宿題をしました。また、同じ頃、芸術学院の講習にも通い、文章や小説を書くことも学びました。専門学校を卒業すると同時に、海軍に入隊しました。

わたしたちの街の
身近な

公園

高輪地区には、四季折々の表情でわたしたちを
楽しませてくれるさまざまな公園があります。
今回は、そんな公園の中から白金台どんぐり児
童遊園を紹介します。

区立白金台どんぐり児童遊園

だれもが気軽に立ち寄ることができ、そして緑を眺めながらほっと一
息できる、そんな街の顔となるような公園があると日々の生活もちょっ
と楽しくなりますよね。そんな公園が今年4月、白金台に開園しました。

打ち水大作戦に地域の住民の方が参加しています

みんなが集える公園を
目指して白金台5丁目
に作られた区立白金台
どんぐり児童遊園、通
称「どんぐり公園」が
それです。面積はおよ
そ6000㎡と都心にして
は、広い公園です。

どんぐり公園はユニ
ークな経緯によって生
まれました。それは、
住民が主体的に公園づくりに参加したことです。目黒通り沿いにある自然教育園に隣接して、以前は古い公務員住宅がありました。跡地は、一旦は売りに出されましたが、周辺住民の熱心な働きかけにより、区が国から用地を取得し、仮整備をすることに決定しました。その後も、本格整備に向けて住民や区が何度もワークショップを重ね、計画のアイデアを出し合い、公園の骨子を作りました。

利用する人ができるだけ自由な行動がとれるよう施設の整備を最小限にする、在来種の植物を主体にする、隣接する「特別養護老人ホーム白金の森」との連携に配慮する、災害時の避難場所としての機能を果たせるようにする、などのワークショップで出されたアイデアはそのまま公園づくりに活かされ、住民と区が一体となって取り組んだ公園づくりが実現しました。

開園から半年がたった今ではすっかり街の顔となり、早朝は犬の散歩をする人、日中は親子づれでにぎわい、夕方には散歩を楽しむ大人たちと、老若男女を問わず公園を楽しんでいます。また、「白金の森」の方からも、車いすで利用できる、と評判がよいようです。夏休みには、ラジオ体操になんと2週間で延べ3000人以上が参加し、朝露の薫りする緑を楽しみながら掛け声に合わせて身体を動かしていました。



大勢の方が朝のラジオ体操を楽しんでいます

「どんぐりの会」

自分たちの街は自分たちで責任を持つと言う考えから、開園後、地域の町会と住民有志が「どんぐりの会」を立ち上げ、区と定期的に話し合いを持って、公園の管理、運営にも関わっています。

自然を観る

① じゃぶじゃぶ池

⑥ ボランティアによる
園内の美化や
環境教育の場

NPO法人やボランティアによる草花の植栽や管理が行われています。また、白金台児童館の児童が環境教育の一環として紙の原料になるケナフを栽培し、はぎき製作を体験しています。



② どんぐり公園由来のシイの木

公園のほぼ中央には昔からの大きなシイの木があります。どんぐりがなるこのシイの木にちなみ、どんぐり公園とよばれています。公園のシンボルです。



自然教育園

③ 子供たちの遊び場

子供たちの遊び場、災害時の避難場所（テント広場）、運動広場、イベント広場などさまざまな活動ができる美しい広場です。



白金の森

④ 災害時に利用できる
マンホールトイレや
かまどベンチ

災害時における避難場所としての利用も考え、マンホールトイレ、かまどベンチ、雨水貯水槽、防災資機材収納庫、ソーラー照明などが設置されています。



目黒通り

完成予想図

⑤ 高齢者にやさしい
公園

高齢者が気軽に利用できるように、車いすや運動に配慮した園路となっており、背伸ばしベンチ、足つぼウォーク、腰ツイスト、ぶらさがり棒などが設置されています。



背伸ばしベンチ

大使館探検隊

クウェート大使館

Embassy of the State of Kuwait

面積 約17,818km²
(日本の四国とほぼ同じ大きさ)
人口 318万人(うちクウェート人100万人)
首都 クウェート
言語 アラビア語 (外務省資料2006年)

クウェート大使館
港区三田4-13-12
03-3455-0361
<http://www.kuwait-embassy.or.jp/>



カーレド アルムタイリー参事官, 次席代表

= 国の概要 =

自然・気候

クウェートの国土は、ほとんどが平坦な砂漠地帯です。

気候は夏季の5月から10月は、厳しい暑さとなり、猛烈な砂あらしが吹いたり、50℃に達するような日もあります。冬季の12月から2月は日中は暖かく感じますが、夜は最低気温が5℃を下回ることもあります。雨が少ないクウェートでは、天然の水資源の確保は難しく、海水を淡水化して多くの水をまかっています。

歴史と経済

1899年にイギリスの保護国となり、1961年イギリスから独立しました。1938年に、世界で有名な埋蔵量のある石油資源が発見されました。第2次世界大戦後に本格的に開発され、1946年から石油の輸出が始まりました。1991年の湾岸戦争により、油田は甚大な被害をうけましたが今はすっかり復興し、世界に石油を供給しています。

クウェートの経済は、石油依存経済です。現在、クウェートの輸出総額の約90%、国庫歳入の約80%が石油によるものです。

豊かな財政のおかげで、クウェートの社会福祉は素晴らしく、公的な医療施設での医療費や教育費はすべて無料となっています。

ただ労働は、外国人労働力に頼らざるを得ない状況で、年々外国人の数が増え、総人口に占めるクウェート人の割合は、30%台になっています。

クウェート人の生活や文化について、カーレド アルムタイリー参事官からお話を伺いました。

生活

ほとんどのクウェート人はイスラム教の信者で、一日5回のお祈りをします。

住宅は広く、平均的な所得の家で、400~500m²もあります。

大家族で暮らすことが多いのです。典型的な家族構成は住み込みの使用人も含め10人位です。大きな家にはディーワーニーヤ(会合場所という意味)という部屋があり、大事な情報交換の場となっています。お茶を飲みながら政治、経済、社会問題などの議論がなされます。公開のディーワーニーヤには誰でも参加できます。

スポーツは、サッカーやハンドボールがさかんです。夏の暑い時期は、夜に練習します。

生活物資の多くを輸入に頼っているため、石油の値段が上がると物価も上がり、影響を受けます。

料理・食生活

香辛料を用いた肉料理や魚料理をよく食べます。宗教上豚肉は食べません。

代表的なのは、マクブースという料理で、サフランで黄色く着色し、アーモンドや干しぶどうを炊き込んだご飯の上に、煮込んだり、ローストした羊、牛、鶏などの肉をのせたものです。魚をのせたものもあります。



マクブース

民族衣装

クウェートでは、金曜日が休日です。イスラム教の寺院を訪れる日なので、その日に民族衣装を着る人が多いです。パーティや日常的な集まりにも民族衣装をよく着ます。

お薦めの場所

海岸沿いにクウェートタワー(187m)があ



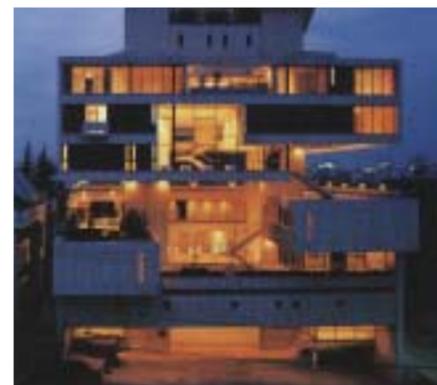
クウェート市街地とクウェートタワー

り、展望台からの景色は素晴らしく、クウェート市内や美しい紺碧のアラビア湾が見渡せますよ。その他に、ぜひ、砂漠でのテント生活を体験してみてください。体験ツアーがあります。

もともと砂漠の民であったクウェート人にとって、砂漠は今でも心のやすらぎでありふるさとです。満天の星空のもと、静寂に包まれて、得難い体験ができると思いますよ。

取材中、紅茶とアラブコーヒーと大使館特製のお菓子のもてなしを受けました。アラブコーヒーは、小さな金属のカップに注がれました。コーヒーの粉に、カルダモンという香料を入れてつくるもので、色は薄茶で、日本のコーヒーとは味も香りも違うもので、しばし異国情緒を味わいました。

宗教文化習慣など、日本との相異点が多くあり、その分、お話は大変興味深いものでした。最後に、今後は地域との交流にも力を入れていきたいとの参事官からのお言葉もいただき、幸せな気分で大使館を後にしました。



丹下健三氏の設計による大使館の建物

クロスワードパズル 高輪縦横無尽

【出題科目】文学・歴史・音楽・忠臣蔵

難易度：★★

町人度：★★★★



縦の鍵

- 「〇〇寒し 四十七士が 霜ばしら」^{きとう} 几童
- 慷慨して死に赴くは易く、従容として義に就くは〇〇〇
- 高輪コミュニティ・ジャズ・オーケストラ
「〇〇〇〇〇・ブリーズ」
- 高輪・二本榎の西玄哲のもとに通い蘭学を学んだ
〇〇〇玄白
- 花の仇を雪に〇〇

横の鍵

- 主君と〇〇〇
- 聖心女子学院を開校したのはカトリック女子修道会「聖心会」の〇〇〇〇。修道女。
- 12月14日の行事といえば
- 「いろは〇〇」四十七字が『仮名手本』
- 「そばきりが 二十〇〇〇が 二十七」(川柳)
討入前夜は蕎麦屋で・・・

1		2	3	
4	5			
	6			7
8				
		9		

区役所のサービスや施設・催し物のご案内は **みなとコール** へ。
 ☎5472-3710 年中無休 午前7時～午後11時

明治学院大学白金祭2008会場で「無料総合法律相談会」を開催します

明治学院大学・士業倶楽部、高輪地区総合支所による無料総合法律相談会を行います。

- 【対象】** 区内在住・在勤・在学者
- 【日時】** 11月3日(月・祝) 午前11時～午後4時
(受付時間 午前10時30分～午後3時30分)
- 【会場】** 明治学院大学白金校舎(港区白金台1-2-37) 本館(1号館)3階 1357教室
- 【内容】** 弁護士、司法書士、弁理士、税理士、行政書士、社会保険労務士など、同大学出身の専門法律家が相談を受けます。
- 【定員】** 20名程度
※会場先着順。
来場者多数の場合はお断りすることがあります。
- 【費用】** 無料
- 【申し込み】** 事前予約はできません。
当日直接会場へお越しください。
※相談資料のある方は当日持参してください。
※車での来場はご遠慮ください。
- 【問い合わせ】** 高輪地区総合支所 地区政策課
電話 5421-7123

あっぷリング高輪フェスティバル

高輪地区総合支所では、高輪地区にある保育園・児童館・福祉会館の皆さんとともに合同文化祭を開催します。

日ごろの活動内容を発表して各施設を知ってもらい、高輪地区の皆さんとのつながりを深めるフェスティバルです。作品展示、踊りや歌などの舞台発表、工作や遊びのコーナーなど盛りだくさん。大道芸人によるパフォーマンスも予定しています。ぜひお越しください。

- 【日時】** 11月28日(金) 展示 午前10時～午後7時
29日(土) 展示 午前10時～午後7時
舞台 午前10時～午後4時
お店 午前10時～午後4時
30日(日) 展示 午前10時～午後4時
- 【会場】** 高輪コミュニティーぷらざ
※車での来場はご遠慮ください。

【問い合わせ】
高輪地区総合支所
地区活動推進課 施設運営係
電話 5421-7067
又は、保育園・児童館・福祉会館へ



10月1日から ごみの分別、収集曜日が 変わりました

【ごみの分別】

- 不燃ごみの分別が変わりました。すべてのプラスチックを「資源プラスチック」として資源回収します。
- 「ゴム・皮革製品」と「汚れの落とせないプラスチック」は可燃ごみになりました。
- プラスチックは、水でさっと洗って汚れを落とし、中身の見える袋で出してください。

【収集曜日・時間】

- 収集曜日は変わりません。資源プラスチックの回収が週に1日追加されました。
- 不燃ごみの収集は、週に1回から月2回に変更となりました。
- すべてのごみ・資源は、朝8時までに集積所に出してください。



町会、マンションなどの単位で、個別説明会「だすと出前説明会」を行っています。気軽にお申し込みください。

【申し込み・問い合わせ】
清掃リサイクル課 事業計画係
電話 3450-8273

港区長に全国高校野球選手権 東東京大会 準優勝を報告!

～東海大学付属高輪台高等学校 野球部～

7月30日、東海大学付属高輪台高等学校野球部の皆さんが港区役所を訪れ、武井雅昭港区長に全国高校野球選手権 東東京大会 準優勝の報告をしました。

主将の高橋政貴さん(3年)は、「地元の方からも応援してもらって、とても力になりました。」と話していました。地域の夏を盛り上げてくれた野球部の皆さんこれからも頑張ってください。



地域情報紙が 全国広報コンクール入選!

港区の5地区の総合支所が発行している地域情報紙(誌)が、全国広報コンクール(主催 社団法人日本広報協会)の広報企画部門で入選しました。

高輪地区でも区民編集メンバーが取材、編集に取組み、情報紙を作成しています。編集メンバーが取材にお伺いしたときは、ご協力をお願いします!



大地震に備えて

家の中の安全対策

家具転倒防止器具等助成申請はもうお済みですか?

家具の転倒などによる被害を最小限に抑えるため、区では家具転倒防止器具を区民に無償で支給しています。詳しくは、下記までお問い合わせください。



<問い合わせ>
高輪地区総合支所
地区活動推進課 活動推進係
電話 5421-7621

前号
クロスワード
パズルの答



- | | | | | | | | |
|-------|-------|--------|--------|-------|--------|-------|-------|
| 山崎 悦子 | 森田 國弘 | 松島 佐紀子 | 川上 裕子 | 大場 由里 | 安藤 まりえ | 安達 貢 | 安藤 洋一 |
| 渡邊 義信 | 安 勢津子 | 森安 雪子 | 齊藤 亜由美 | 河村 保弘 | 生田 優子 | 中嶋 路子 | |

編集だより

本号は、苦難を乗り越えて、志をとげていくというようなテーマの話が多くなりましたが、どの話もそれぞれに心うたれます。

今までの強力なスタッフに加えて、知識も豊富、特技をお持ちの三人の新人が参加することになりました。これから充実していく紙面にご期待ください。(洋)

天高く馬肥ゆる秋、気がついたらずか二ヶ月間で3kg増の私。ことわざは本当だった。今月号は、秋を感じたくて季節感のある色でデザインしてみました。くれぐれも食欲だけは秋モードにならないように注意しないと。(由里)

メンバーになり一年余。若い女性から町のご長老まで、普段の生活では出会えない、この地域のいろんな方たちとの共同作業に、いつも刺激を受けています。(亜)

日本の文化や伝統工芸をこよなく愛して下さっているイツカさん。イツカさんを見習って、日本の古きよきものを大事にしていきたいと思いました。(まり)